

様式1	令和5年度 小金井市立南小学校 自己評価表	
	○ふかく考える子 ◎ねばり強くやり通す子	○明るく元気な子 ○なかよく助け合う子

目指す学校像(ビジョン)		
【目指す学校像】	・子どもが通いたい学校 ・保護者の皆様が通わせたい学校 ・地域の方々が誇りにできる学校 ・教職員が働き続けたい学校	
【目指す児童・生徒像】	・確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童 ・何事にも挑戦する強い意志と思いやりをもった児童	
【目指す教師像】	・組織の一員として互いに尊重し合い、自分の力を発揮できる学校・切磋琢磨し学び合える学校、共に働く喜びが実感できる学校	

前年度までの学校経営上の成果と課題		
○成果1・・・教職員が一致団結し、一人一人がアイデアを出し合い、教育活動を推進することができた。		
○成果2・・・コロナ禍における対応を適切に行い、様々な行事を計画通り実施することができた。		
●課題・・・不登校傾向、不登校児童を支援する体制作り、ICT活用推進に課題がある。		

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
人権教育の推進	人権教育及び心の教育を充実させ、自他の生命と人格を尊重し、いじめ根絶に向けた取組を徹底する。	児童の心に寄り添う学級・学年・学校経営を推進する。	特別支援教育コーディネーターを中心にスクールカウンセラーを活用し、教育相談体制を充実させる。5,6年生全児童とカウンセラー面談を実施する。	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 保護者アンケートで、肯定的回答90%以上
			道徳教育の充実を通し、児童の豊かな心の育成を図る。	3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満
			週1回の道徳授業では、毎回ねらいとする価値を明確にして指導を行う。また、子どもの人権に十分配慮した教育活動を行う。	2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者アンケートで、肯定的加藤70%以上80%未満
			1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 保護者アンケートで、肯定的回答70%未満	
授業変革の推進	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを実践し、児童の問題解決力を高める。	学力向上に向け、「全国学力調査」や「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を生かし、日常的に授業改善に取り組み基礎学力の向上を図る。 教員が日常的にICTを活用した授業展開を行い、教師主導型の授業からの転換を図る。	全教職員が、一授業一工夫を目指し、お互いの授業を見合ったり、積極的に自分の経験やノウハウを校内OJT等を通して紹介しながら切磋琢磨し、教員集団を高める。	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 保護者アンケートで、肯定的回答90%以上
			毎日ICTの活用を目指す。また、一人1台端末等のICT機器を効果的に活用し、学習の個別最適化や協働的な学びを推進する。	3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満
			4 実施率100%	2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者アンケートで、肯定的加藤70%以上80%未満
			3 実施率80%以上100%未満	1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 保護者アンケートで、肯定的回答70%未満
地域連携の推進	「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を目指す。	コミュニティスクールとなり2年目。運営委員や地域コーディネーターとともに地域と学校の連携作りを強化していく。	地域関係者に、南小学校をもっと知ってもらうために授業公開時や学校運営協議会日を中心に授業参観を積極的にしてもらい、意見をいただく。	4 活動の参加者のアンケートで肯定的回答90%以上	4 保護者アンケートで、肯定的回答90%以上
			児童や地域を盛り上げるために、教職員が様々な場面で動機付けを行う。また、今までささえてくれた方々への感謝やこれからの夢の実現に向けての指導も同時に行う。	3 活動の参加者アンケートで肯定的回答80%以上90%未満	3 保護者アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満
			4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	2 活動の参加者アンケートで肯定的回答70%以上80%未満	2 保護者アンケートで、肯定的加藤70%以上80%未満
			3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上90%未満	1 活動の参加者アンケートで肯定的回答70%未満	1 保護者アンケートで、肯定的回答70%未満
特色ある学校づくり	地域環境及び地域人材を有効的に活用し、教育活動の充実を図る。	地域学校協働活動や南小サポーターを活用し、学校教育に地域人材を積極的に活用していく。	各学年の活動の中に一つ以上の地域人材を登用する。また、実施後は実施の効果や課題を検討し、次年度引き継ぐ。	4 全学年で、ゲストティーチャーを活用した学習を実施	4 児童アンケートで、肯定的回答90%以上
			4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	3 3分の2以上の学年で、ゲストティーチャーを活用した学習を実施	3 児童アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満
	たてわり活動を通して異年齢集団による創造的、体験的な活動を推進する。	児童の主体的な活動としてたてわり活動を位置づけ、推進する。	年5回のたてわり活動で、毎回ねらいを明確にし、短い時間でも充実した活動になるよう児童への助言を行う。	2 3分の1以上の学年で、ゲストティーチャーを活用した授業を実施	2 児童アンケートで、肯定的回答70%以上80%未満
				1 ゲストティーチャーを活用した学習を未実施	1 児童アンケートで、肯定的回答70%未満
	体力・運動意識の向上を図る。	体力テストの結果や、体育の授業を通しての実態把握から、児童が自らの体力の課題に気づき、主体的に改善できるようにしていく。	学期ごとに重点的に高めたい力を決め、体育の時間の導入時に取り入れられる動き方を発達段階に応じて紹介していく。	4 教職員の取組評価で肯定的回答90%以上	4 児童アンケートで、肯定的回答90%以上
				3 教職員の取組評価で肯定的回答80%以上90%未満	3 児童アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満
市の施策であるハチドリプロジェクトなどを通して環境教育を充実させる。	児童一人一人が、身近な生活場面で当事者意識をもち、環境に対してできることはないかを考えさせる。	生活科、総合的な学習の時間を中心に自分たちの力で環境を整備できる体験、経験を積み重ねていく。	2 教職員の取組評価で肯定的回答70%以上80%未満	2 児童アンケートで、肯定的回答70%以上80%未満	
			1 教職員の取組評価で肯定的回答70%未満	1 児童アンケートで、肯定的回答70%未満	
			4 実施率100%	4 児童アンケートで、肯定的回答90%以上	
			3 実施率80%以上90%未満	3 児童アンケートで、肯定的回答80%以上90%未満	
			2 実施率60%以上80%未満	2 児童アンケートで、肯定的回答70%以上80%未満	
			1 実施率60%未満	1 児童アンケートで、肯定的回答70%未満	